

久留米大学「御井図書館編」

2013 知の玉手箱

知的好奇心があふれている

<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/>

情報収集 としての 読書

『知の玉手箱 2013』編集委員
久留米大学法科大学院
教授 松本 博

読むことは娯楽であるのと同時に直接的な生活情報や仕事上で必要な知識・情報を得る手段であるが、最近では、情報を web 上で入手する機会が増えている。さまざまなニュースも第一報は web 上で触れることがほとんどといっている。パソコンや iPad あるいはスマートフォンを利用して、ニュースの項目を閲覧すれば、今何処で何が起きているのかについての最新の情報を容易に取得することができ、さしたるタイムラグもなく、現在の状況を把握できることについては、便利なことこのうえない。

しかし、その一方で紙媒体の情報収集が廃れてしまったわけではない。速報性という点では、電子機器の利用による情報アクセスにはもはや比較にならないほどの優位性が認められるものの、早いことが直ちに正確であることには繋がらない。匿名性の高い不正確で無責任な情報が跳梁跋扈し、権利が侵害されていることは 2 チャンネルの例を挙げるまでもないだろう。また、事実関係の全体像を俯瞰し、分析を加えるという点においては、現状のところ紙媒体のほうに一日の長があるし、収集できる情報の分量も多い。

デジタル情報と紙媒体といった情報ソースは、それぞれが一長一短を有し、いずれかが絶対的なものとはいえない。その点で、現代人に必要なことは、情報ソースの使い分けということになる。何を欲するかによつての情報収集手段の棲み分けが存在しているのである。

ただ、デジタル情報を利用しようと、新聞・雑誌を利用しようと、どのような形で情報を入力するとしても求められるのは、文章を的確に読み取るスキルである。そして、そのスキルアップのために不可欠なのは、まずもって文章に慣れることである。それは自分自身にとって興味の持てる本を手にすることから始まる。図書館は、そうしたきっかけを作ってくれる最良の場である。図書館に足を運び、本の背表紙を眺めながら、興味を惹くものを実際に手に取ってページをめくる楽しみを堪能してほしい。『知の玉手箱』が、そのためのガイドブックとして最大限活用されることを願っている。

- 知の玉手箱 2013』発行にあたって
——松本 博 (久留米大学法科大学院)

文芸 (小説) P3

- 01 ■ のぼうの城/和田 竜 著
——本廣 真依 (法学部学生)
- 02 ■ 空の上で本当にあった心温まる物語
/三枝 理枝子 著
——城 秀樹 (法学部学生)
- 03 ■ 菓子さんと奇妙な客人たち/三上 延 著
——高田 裕介 (法学部学生)
- 04 ■ 壬生義士伝 上・下/浅田 次郎 著
——古賀 梓 (法学部学生)
- 05 ■ 風が強く吹いている/三浦 しをん 著
——稲富 朱音 (法学部学生)
- 06 ■ 西の魔女が死んだ/梨木 香歩 著
——隅野 和美 (文学部学生)
- 07 ■ ルーズヴェルト・ゲーム/池井戸 潤 著
——河内 千栄子 (法学部)

評論・エッセイ P6

- 08 ■ バカの壁/養孟 司 著
——奥井 秀樹 (商学部)

社会・政治・時事・ノンフィクション P7

- 09 ■ 永遠のサッカー小僧: 中村憲剛物語
/森沢 明夫 著
——林田 大樹 (法学部学生)
- 10 ■ 僕が旅に出る理由/木村 行伸 著
——川井 大地 (法学部学生)
- 11 ■ 夜と霧/ヴィクトール・E・フランクル 著, 池田 香代子 訳
——秦野 遼平 (経済学部学生)
- 12 ■ 米国製エリートは本当にすごいのか?
/佐々木 紀彦 著
——河内 千栄子 (法学部)
- 13 ■ ハーバード白熱日本史教室/北川 智子 著
——関本 大樹 (法学部)
- 14 ■ 最強のスマールビジネス経営: もうけ続ける会社の経営品質はどこが違うか
/関西生産性本部 著
——奥井 秀樹 (商学部)
- 15 ■ 公務員革命: 彼らの「やる気」が地域社会を変える/太田 肇 著
——奥井 秀樹 (商学部)
- 16 ■ 図解 世界の中の「日本の順位」がわかる本: 「すごい日本」「ダメな日本」が一目瞭然!
/インタビュー 21 著
——安藤 裕介 (文学部)

自己啓発 P11

- 17 ■ 「優柔決断」のすすめ/古田 敦也 著
——成島 大貴 (法学部学生)
- 18 ■ 心を整える。: 勝利をたぐり寄せるための56の習慣/長谷部 誠 著
——中島 彩瑛 (法学部学生)
- 19 ■ 「のび太」という生きかた/横山 泰行 著
——平石 太一 (法学部学生)
- 20 ■ 朝にキク言葉/ひすい こたろう 著
——原田 未紗貴 (商学部学生)
- 21 ■ 星の商人: 「成功の秘法」を手に入れるためのレッスン/犬飼 ターボ 著
——神谷 成美 (商学部学生)

スペシャル選書 教員の視点から P13

- 辻本 尚弥 (健康・スポーツ科学センター)
- 22 ■ 福島の子どもたちからの手紙: ほうしやのうっていつなくなるの?
/KIDS VOICE 著
- 23 ■ 原発危機と「東大話法」: 傍観者の論理・欺瞞の言語/安富 歩 著
- 24 ■ 「科学的思考」のレッスン: 学校で教えてくれないサイエンス/戸田山 和久 著
- 25 ■ なかのととのるの生命科学者の伝記を読む
/仲野 徹 著
- 26 ■ Histology and Cell Biology: An Introduction to Pathology
/A.L. Kierszenbaum, Laura L. Tres 著

「本学 OPAC」で簡易検索 P16

■ 御井図書館ホームページ

■ ウェブサイトを活用して図書館の達人になろう P17

本書で紹介された書籍類はすべて
久留米大学御井図書館に所蔵されています

制作・発行/久留米大学御井図書館
印刷/有限会社新幸印刷

本誌の全部または一部を無断で複写複製すること(コピー/インターネットでの公開など)は、著作権法上の例外を除き、禁じられています。
©久留米大学御井図書館 2013

01

のぼうの城

和田 竜 著/小学館 刊…………… ¥1,500 (税別)

●本廣 真依(法学部学生)

天下の豊臣軍にケンカを売った、でくのぼうのとんでもない奇策とは?!

戦国の世。天下統一を目前に控えた豊臣秀吉の命を受けた石田三成率いる二万余りの軍は北条家小田原城の支城である武州・忍城を攻める為に出陣する。その報せを受けた忍城当主・氏長は北条家を裏切り豊臣方に寝返ってしまう。

しかし、和解に訪れた豊臣方使者・長束正家の無礼な態度に憤りを感じたある男が「戦」を選択。その男こそ当主一門でありながら馬にも乗れない武士「(でく)のぼう様」長親だった。

背が高く脂肪により横幅もある為、大きい。だがただ大きいだけ。さらに武芸も不得意の長親。そんな長親が持つ唯一の武器・人望(!?)男に勝機はあるのか。そんな中、石田三成による「水攻め」で窮地に追い込まれた長親が取った行動。それはとんでもない奇策だった。

実際に小田原城の合戦の内容一つとなった忍城の攻防戦を描く、歴史小説です。

02

空の上で本当にあった心温まる物語

三枝 理枝子 著/あさ出版 刊…………… ¥1,300 (税別)

●城 秀樹(法学部学生)

ANA元CAが出会った、心打たれる奇跡の出来事。

本作は「カーテン越しのバースデー」「日焼けしたあなたに」「Good-bye wave」など1から33まで空の上での数々の素敵な出会いをANA元CAさんが紹介した短編小説集です。

なるほどと感心する話から、そんな事までと驚く話まで、めったに乗る事もなく、乗ったとしてもあまり気にしていないCAさんの気遣いや日頃から鍛えられている事などを小説のように書いており、また、小説一つひとつの終わりに解説もあり、読んでいてみなさんの日頃に活用できる話もあります。

中でも、私のお勧めは「機長のこだわり」という話です。これは、みなさんも飛行機に乗った際に、一度は聞いたことがあると思います。機長がお客様に向かってするアナウンスの話です。そのアナウンスのスタイルも実に様々で、七夕には「皆様の願いが叶いますように」、修学旅行生や団体客が搭乗した時には学校名や団体名を呼びかけたりとたくさんあるようです。そんなたくさん書いてある中で私が感動したのは、「桜の花びらがあなたの杯に舞い落ちますように」などと、ロマンチックなアナウンスをすることで、お客様に気持ち良く過ごしていただきたい、というの、サービス精神が少ない無骨なアナウンスだけれど、何かあった時の布石しておくの、皆、お客様への想いがあるからこそです。そんな機長の想いのこもったアナウンスに、みなさんも耳を傾けてみませんか。

また、CAさんの話だけでなく整備士、機長、CA訓練生などたくさんの方の体験談が書かれているので、是非みなさん読んでみてください。

03

栞子さんと奇妙な客人たち

三上 延 著／アスキー・メディアワークス 刊、角川グループパブリッシング (発売)
 ¥590 (税別)

●高田 裕介 (法学部学生)

古書を知らず読むのをためらっている人にぜひオススメです。

鎌倉の片隅に店を構える古書店・ビブリア古書堂に持ち込まれた事件が描かれる作品です。初対面の人とは口がきけないほど人見知りだが、古書には並はずれた知識を持つ店主篠川栞子と「活字恐怖症」で本も読めないにもかかわらずアルバイトをすることになった五浦大輔の2人が、持ち込まれる古書にまつわる事件や謎を解き明かすというストーリーになっています。収録されているのは全部で4篇。それにプロローグとエピローグが用意されています。ミステリーとしては軽めですが、古書の謎よりも、その古書を巡る人々の想いを楽しむ作品と言えるでしょう。本編に登場する古書はすべて実在するものですが、その古書を全く知らなくても楽しめます。古書を知らないから読むのをためらっている人もぜひ読んでみてください。

04

壬生義士伝 上・下

浅田 次郎 著／文藝春秋 刊 ¥667 (上・下/税別)

●古賀 梓 (法学部学生)

涙なしでは読めないほどとても感動する作品。

本作は、新撰組に実在した吉村貫一郎を題材とした時代小説である。主人公の吉村貫一郎は、新撰組の中でも凄腕の剣客、かつ藩校の師範を勤めるほどの文武両道な人物であったが、異常なほどに「金」に執着していた。しかし、それにはとても深い理由があった。

この作品は、映画化やドラマ化もされ時代小説という堅苦しくて読みにくいイメージがあるかもしれないが、様々な人々の視点から書かれているので、最後まで飽きることなく読むことが出来る。また、その書き方によって吉村貫一郎の人物像を浮かびあがらせるだけでなく、吉村のことを語る人々の人物像や時代背景まで浮かびあがらせてくれる。

後半になると涙なしでは読めないほどのとても感動する作品なので、ぜひ皆さんにも読んで欲しい。

05

風が強く吹いている

三浦 しをん 著/新潮社 刊…………… ¥819 (税別)

●稲富 朱音(法学部学生)

仲間と一緒にだったら乗り越えられる真の「強さ」を謳いあげた青春小説。

毎年箱根駅伝を見ていた、私はこの「風が強く吹いている」を読んで駅伝が益々好きになりました。走ることが大好きで才能に恵まれていたにも関わらず走ることをあきらめかけていた主人公。しかし、あるきっかけで灰二に出会い他の仲間たった10人で箱根駅伝に出るためには、想像を絶するような努力と準備期間が必要で1人じゃ辛くて諦めたくなるようなことも、仲間と一緒にだったら乗り越えられる。そう思わされました。

毎年何となく見ていたら箱根駅伝もこの本を読んでどの大学も色んなドラマがあって次のタスキをつなぐために走っているのだと思うと、とても能動的で凄いことだと思いました。ぜひ、「風が強く吹いている」を読んでみて下さい!!

06

西の魔女が死んだ

梨木 香歩 著/新潮社 刊…………… ¥400 (税別)

●隅野 和美(文学部学生)

繊細で傷つきやすい、それでも頑張っている。

「おばあちゃん、大好き」まいが言うとおばあちゃんは優しく微笑んで答えた。「アイ・ノウ」と。中学生になったまいは、あるきっかけがもとで不登校となる。不登校となったまいを、まいの母親は田舎にすむ「西の魔女」ことおばあちゃんのところにあずけることにした。おばあちゃんと暮らすことになったまいは、魔女修行をはじめ。魔女修行で大事なことは「自分で決める」こと。まいの修行は規則正しい生活をするところからスタートした。

本作にははじめ問題、生と死、自然など様々なテーマが盛り込まれています。それはどれもまいのぶつかった壁です。おばあちゃんと暮らしていく中で、傷ついたまいが「再生」していく物語ですが、本作の中には私たちが生きるためのヒントもたくさん散りばめられています。繊細で傷つきやすい、それでも頑張っている人に手に取ってほしい一冊です。

07

ルーズヴェルト・ゲーム

池井戸 潤 著/講談社 刊…………… ¥1,600 (税別)

人が瀬戸際に立たされた時、いかに立ち向かうかを描いた作品。

このタイトルを見て、野球の試合を連想できる人はいるのだろうか。これまでプロ野球はおろか、社会人野球などあまり興味がなかった私には新しい発見ばかりだ。本書は中堅企業がかかえる斜陽の社会人野球部の存続を中心に、不況真っ只中、大手企業に吸収されようとする会社の奮闘振りが展開される。ライバルに監督とエースをとられ、会社のお荷物となった野球チームは存続できるのか。会社内で対立する人間関係の中、大手企業の策略に飲み込まれるのか。そして、この会社を救うものは何か。著者の池井戸潤は、常に、弱い立場の会社や人間に焦点を当て、彼らが瀬戸際に立たされた時、いかに立ち向かうかを描きながら、読み手を一気に応援団に仕向ける。タイトルの答は是非、本書を手にして見つけよう。同著者による「鉄の骨」(講談社)「空飛ぶタイヤ」(講談社)も超おススメです。

●河内 千栄子(法学部)

08

バカの壁

養老孟 司 著/新潮社 刊…………… ¥680 (税別)

様々な正解のない問題について深い思索を繰り広げています。

あなたは心のどこかで「自分は正しいバランス感覚の持ち主だ」という意識を持っていないでしょうか?自分が興味がある情報だけを取り入れ、興味がない情報はシャットアウトしてしまっていないでしょうか?。

本書では、解剖学者である著者が「バカの壁」という言葉を使って、人間は自分の脳の中に入ることしか理解できない存在であり、いかに考えなしに自分の周囲に壁をつくってしまいがちかということを述べています。

また、多くの大学生には、大学受験までの勉強で「問題には必ず正解があるもの」という意識が刷り込まれていることでしょう。しかし、世の中には正解のない問題もたくさん存在しています。むしろ、正解がないほうが当たり前かもしれません。

本書中では、著者が重要な問題から些末な問題にいたるまで、様々な正解のない問題について深い思索を繰り広げています。そうした思索に触れることで、柔軟な思考能力を養ってください。

●奥井 秀樹(商学部)

09

永遠のサッカー小僧：中村憲剛物語

森沢 明夫 著／講談社 刊…………… ¥1,500 (税別)

●林田 大樹(法学部学生)

サッカー好きな人はもちろんだが、そうでない人にもぜひ読んでもらいたい一冊。

この本はサッカー日本代表の中村憲剛選手(現川崎フロンターレ)の半生を描いたノンフィクションの作品である。そもそも中村選手は私たちと変わらない「凡人」でした。しかし、そんな中村選手と自分の決定的な違いがあるということはこの本を通じて気付くことができた。そして「自分もきっと中村選手のように人生を輝かされる」そういう確かな希望を抱くことができた。この本の中で中村選手は「1%でも可能性があるなら、それは努力をやめない理由になるでしょ?」と言っている。この言葉で自分をもっともっと努力しようと思ったし、すごくいいモチベーションを持つことができるようになった。こういう男の生き様はきっと多くの人を励まし、夢や希望へと向かうべく、背中を押してくれると思う。サッカー好きな人はもちろんだが、そうでない人にもぜひ読んでもらいたい一冊だ。

10

僕が旅に出る理由

木村 行伸 著／いろは出版 刊…………… ¥1,400 (税別)

●川井 大地(法学部学生)

退屈な生活を送っている方、自分を見つめ直そうとしている方に読んで欲しい一冊。

大人になる前に世界一周したい。大学生生活を授業なんかで失いたくない。誰も自分のことを知らない場所で、自分を試してみたいという理由で世界へ一歩飛び出した100人の大学生が、そこで起きた出来事、そこでの出会い、そこで感じたこと、それをきっかけに今までの自分と向かい合い、悩んで、そして新しい自分に出逢ったことを記した本書。世界一の大都会ニューヨークからアマゾンの小さな村、南の島、アフリカの発展途上の国まで世界中の国々、人々、子供たちが登場します。彼らの中には、戦地で生きる人、勉強したくても学校に通うことが出来ない子供たちがいます。彼らのことを考えながら本書を読むと、日本の豊かな生活の有り難味が分かります。退屈な生活を送っている方、将来海外へ進出しようと考えている方、自分を見つめ直そうとしている方に読んで欲しい一冊です。

11

夜と霧

ヴィクトール・E・フランクル 著、池田 香代子 訳／みすず書房 刊 … ￥1,500 (税別)

●秦野 遼平(経済学部学生)

苦しいときに読むと頑張ろうと思えるような本。

第二次世界大戦中、一人のオーストリアの心理学者が強制収容所で強制労働を強いられていた。終戦後、帰ってきた彼が収容所で体験した、目にしたことを心理学者の視点から考察し、この本を書き上げた。

私は、この本の存在をある本の中で知った。そのある本の中では「苦しいときに読むと頑張ろうと思えるような本」と表現されていた。これは素晴らしい考えだと思います。しかし私は、読む人の分だけ感じるものがあると思います。これはもっと素晴らしいことです。楽しくなるような物語はみなさん好きだと思いますが、時にはこのような本を読んでより多くのことを考えてみてはいかがでしょうか？

12

米国製エリートは本当にすごいのか？

佐々木 紀彦 著／東洋経済新報社 刊 …………… ￥1,500 (税別)

「圧倒的な読書量の違い」。このインプットの量と質の高さが学問、ビジネス、政治の土台になっている。

日本人若者の米国留学志望者激減と言われる昨今、本書は刺激的なタイトルで、アメリカの一流大学の実態を紹介している。目次には、「世界から集うエリートの生態(韓国、中国からの留学生急増の背景や実態など)」「経済・ビジネス資本主義への愛と妄信(米国人はなぜお金が好きか)」「歴史が浅いからこそ歴史にこだわる(北部・南部のカルチャーの違いなど)」「国際政治・インテリジェンス:世界一視野の広い引きこもり(日本の50倍の予算)」など、どの章も著者の大学院留学体験と客観的データに基づいて書かれている。本書のタイトルとなっている第一章だけでも目を通すと日米の大学の違いが歴然としてくる。一言で言うと、「圧倒的な読書量の違い」(アメリカでは最低でも480冊読まされる学部生)。このインプットの量と質の高さが学問、ビジネス、政治の土台になっていること。皆さんも、図書館を教室に次ぐ「大学での居場所」として大いに活用してほしい。

●河内 千栄子(法学部)

13

ハーバード白熱日本史教室

北川 智子 著／新潮社 刊…………… ¥680 (税別)

米国ハーバード大学で日本史を担当している日本人若手女性レクチャーの人気講座とは。

本書は、米国ハーバード大学において日本史と数学史を担当している日本人若手女性レクチャーである著者が、「武士道」という男文化の陰でそれを支え続けた女性群像に注目して中世日本史を紹介する「Lady Samurai」という人気講座や日本の特定の場所に注目した「KYOTO」という名称の斬新な歴史講座を、どのような経緯とコンセプトで運営しているのかを五つのエッセイにまとめたものです。

特に後者のクラスでは、通常の講義スタイルを完全に覆して受講生中心の「アクティブ・ラーニング」という、受講生が自分たちで実際に試しながら学ぶという体験型の教授法を導入していることが第4章で具体的に紹介されています。「白熱教室」で有名なマイケル・サンデル教授の講義もその一種ですが、「地図作り」、「グループ・プレゼン」、「タイムトラベル」、「ラジオ番組づくり」、「映画づくり」などのアクティビティを通して受講生は創造力と発信力を伸ばしていきます。

●関本 大樹 (法学部)

14

最強のsmallビジネス経営：もう 続ける会社の経営品質はどこが違うか

関西生産性本部 編著／ダイヤモンド社 刊…………… ¥1,800 (税別)

あなたも魅力的な中小企業経営の世界を覗いてみませんか？

学生の皆さんが就職活動をする場合、どうしても派手に事業を展開している大企業にばかりを目が行ってしまうということがありがちです。しかし、それは非常にもったいないことです。誰もが知っている大企業に憧れるのは無理もないのですが、我が国の企業の約99%、つまり、ほとんどは中小企業です。中小企業が元気になることは我が国全体が元気になることに直結しているといっても過言ではありません。そのような中小企業にも積極的に目を向けることで今まで見えていなかった新しい世界が広がります。

この本では中小企業の中でも特に優れた活動を行っている7社の事例が紹介されています。そして、それらの事例研究を通じて、優れた中小企業とはどのようなものかを明らかにしています。本書を読めば中小企業の経営が決して地味なものではなく、やりがいと満ちたものであることがわかるでしょう。

あなたも魅力的な中小企業経営の世界を覗いてみませんか？

●奥井 秀樹 (商学部)

15

公務員革命：彼らの「やる気」が地域社会を変える

太田 肇 著／筑摩書房 刊…………… ￥740(税別)

やる気を高め、社会のために力を発揮できるのか、豊かな社会を実現するために。

公務員に対する世間の声として「税金で飯を喰っているという意識を持って」、「もっと給料を下げろ」、「もっと仕事をしろ」などという意見をよく耳にします。あなたはこうした公務員に対するバッシングや締め付けともいうべき風潮をどう思いますか。「もっと言ってやれ」、「どんどん締め付けてやれ」と思う人も多いでしょう。しかし、そうした考え方は必ずしも正しいとはいえません。公務員の社会的役割は非常に重要なものであり、豊かな社会を実現するためには、彼らに存分に力を発揮してもらわなくてはならないのです。バッシングや締め付けをするだけでは、彼らのやる気を削いでしまうばかりで逆効果にもなりかねません。時には、「批判したい」という気持ちをぐっと抑えて、どうすれば公務員のやる気を高められるか、社会のために力を発揮させられるか、という視点から物事を考えることも必要です。本書を読んで、そうした視点を養ってください。

●奥井 秀樹(商学部)

16

図解 世界の中の「日本の順位」がわかる本： 「すごい日本」「ダメな日本」が一目瞭然！

インタービジョン21 著／三笠書房 刊…………… ￥600(税別)

等身大の日本を知ることにより、今後の日本について考える切っ掛けを与えてくれる本。

あまりにも俗っぽい内容なので「知の玉手箱」の推薦図書として相応しくないかもしれない。だが、一読すればすぐわかるが、本書は雑学と教養に満ちており、われわれの好奇心を大いにかきたててくれる。本書によって、日本と日本人の「本当の姿」がわかるし、「日本のすごい一面・ダメな部分」「日本人の素顔」が浮き彫りになるのである。日本人が勝手に思っている日本のイメージが実は幻想にすぎないことがわかるのである。世界的にみれば、日本人の労働時間は必ずしも長くないし、日本は教育熱心な国でもないのである。「なぜこの国がトップなの？」と不思議に思うような情報も満載である。世界は日々、変化しているのである。男女の平等の問題等、日本が抱える課題が浮き彫りになる。「時間に正確」「他人に親切」等、日本人が当たり前だと思っていることが、世界では賞賛的になっていることもわかる。いずれにしる、等身大の日本を知ることにより、今後の日本について考える切っ掛けを与えてくれる本である。

●安藤 裕介(文学部)

17

「優柔決断」のすすめ

古田 敦也 著/PHP研究所 刊 ¥700 (税別)

● 箴島 大貴 (法学部学生)

優柔不断ではなく優柔「決断」することの大切さが分かり、ポジティブな考え方ができるようになる一冊。

皆さんは「優柔不断」ではありませんか？この本は、元プロ野球選手の古田敦也さんがプロ野球選手時代の経験をもとに、優柔不断ではなく優柔「決断」ができる人になるにはどうしたらよいか？という「優柔決断の思考法」を書いた作品です。『メガネをかけたキャッチャーは大成しない』。このプロ野球界の常識が、まだコンタクトもなく、ひどい乱視で、メガネをかけて野球をするしかなかった大学4年生の古田さんの、プロ野球選手という夢を打ち砕きました。挫折を味わった古田さんでしたが、このとき古田さんは、この常識に縛られて勝手に自分の未来を予測するのではなく、開きなおってがむしゃらにやっ払い「決断」しました。そして、これをはじめとする数々の「強い決断」と「やわらかい発想」が次々に常識と逆境を打ち破り、古田さんの人生は変わっていきます。優柔不断ではなく優柔「決断」することの大切さが分かり、ポジティブな考え方ができるようになる一冊です。

18

心を整える。：勝利をたぐり寄せるための56の習慣

長谷部 誠 著/幻冬舎 刊 ¥1,300 (税別)

● 中島 彩瑛 (法学部学生)

自分の望む結果を出すためには、毎日の生活の中で「心を整える」時間をつくるのが大切。

長谷部誠はサッカー選手としては、特に特徴がある選手ではない。試合を決定するフリーキックが蹴れるわけではないし、突出したテクニクを持っているわけでもない。しかし、彼はあらゆる指揮官に重宝される日本代表の中心人物だ。

心はよく「鍛える」「磨く」などと表現されるが、彼は心を「整える」だ。生活のリズム、睡眠、食事、そして、練習。日々の生活から、心に有害なことをしないように、少しでも乱れたら自分で整える。そうすることによって、いかなる試合でも、いかなる場面でも揺らぐことなく、ピッチで力が発揮できるという。

この本は、長谷部選手のみじめさやストイックさが出ていると思う。自分のベストな力を発揮して、自分の望む結果を出すためには、毎日の生活の中で「心を整える」時間をつくるのが大切だと思った。サッカーに興味があなくても読める本なので、一度読んでみて欲しい。

19

「のび太」という生きかた

横山 泰行 著／アスコム 刊…………… ¥1,200 (税別)

●平石 太一(法学部学生)

広い心を持って楽しく一日一日を送っていったら良いと、自分自身に言い聞かせる良い機会。

僕の印象に残っている本の中の一つに『「のび太」という生きかた』というものがあります。のび太は誰もが知っているドラえもんの登場人物で頭も悪く運動音痴でジャイアンからもよくイジメられています。僕は毎回ドラえもんがのび太に道具を出してそれで全てを丸く収めているだけだろうという目線で幼い頃からずっとドラえもんを見ていました。けれどこの本を読んで見方が変わりました。この本の筆者は、道具には毎回何かしらのメッセージがあって何が起きようと自分の力で解決することが一番の対処法だという事を書いていました。この意見にはとても共感する点がありました。確かに人に助けられて、楽に事を収めてられたとしても最後はやはり自分一人の力だと思うからです。よく「友情」「友達を大切に」などと言いますが、結局人間一番大切なのは自分自身だとも思います。さらにドラえもんではイジメ・不登校・環境問題などを題材にしてアニメを作り上げ今の日本が抱えている問題を掲げていると書いてある事にも大変納得しました。僕は頭も良くないですし運動もあまりできる方ではなく、さらにマイナス思考、悲観的と言われる。ここでのび太と僕の違う点は楽観的か悲観的かという事だと、この本によって思わされました。物事は何事でもプラスに考えた方が楽しいですし、気持ちも楽になります。こう考えると「のび太」の生きかたは決して間違っているわけではなく、むしろ人生を楽しんでいるのではないかとまで考えさせられました。これからは小さな事でも大きな事でも広い心を持って楽しく一日一日を送っていったら良いかなと、自分自身に言い聞かせる良い機会になると思います。

20

朝にキク言葉

ひすい こたろう 著／サンマーク出版 刊…………… ¥1,200 (税別)

●原田 未紗貴(商学部学生)

朝が苦手な人も早起きが得意な人も、「朝にキク言葉」で気持ちよく1日を始めてみませんか。

あなたは朝どんな気分で起きますか？「あと5分眠たい」「休みだったらな」ネガティブな気持ちで起きる人が多いのではないのでしょうか。夜寝る前に、この本を枕元に置いて朝起きたら1ページ開いて読む。これだけで目覚め、一日を気持ちよく始められるのです。「朝にキク言葉」には、歴史上の人物の言葉から、現在も活躍している芸能人まで、様々な人の言葉が載っています。私がこの本の中で最も印象に残った言葉は、「いつも世界のどこかで朝が訪れている」です。どんなに辛い時でも朝日は差し込むのです。毎朝名言に触れるうちに、これまで当たり前に来ると思っていた朝の大切さに気付くと思います。名言の最後にある「今日の目覚ましサブリ」をその日の目標にしているのも面白いと思います。朝が苦手な人も早起きが得意な人も、「朝にキク言葉」で気持ちよく1日を始めてみませんか。

21

星の商人：「成功の秘法」を手に入れるためのレッスン

犬飼 ターボ 著／サンマーク出版 刊…………… ¥1,300 (税別)

●神谷 成美(商学部学生)

成功するということとは、何かを考えるきっかけになります。

この世にある富は限りあるものなのか、それとも無限に存在するものなのか。この考え方の違いによって、この本に登場するレキとスタムは全く別の運命を辿ることになります。二人は商人を目指して田舎から出てきた若者です。商人になる方法を教えてもらいに、昔大商人だった賢者の家を訪れました。そこで渡されたのは、一枚の羊皮紙。そこには、「他の成功は己の成功」とだけ書かれています。レキはその言葉を信じますが、スタムはその言葉は間違いであると信じず、二人は別々の道を歩むことになりました。私を含め多くの人は、「富は競争から得られるものであり、限りあるものである」と思っている人が多いでしょう。この本を読むことで別の考えもあるのだということを考えさせられます。しかし、両方の考え方が正しく、それを選ぶのは自分であるということはこの本は教えてくれました。成功すること、幸せとは何かを考えるきっかけになると思います。

22

福島の子どもたちからの手紙：ほうしゃのうっていつなくなるの？

KIDS VOICE 著／朝日新聞出版 刊…………… ¥1,300 (税別)

子供達の手紙です、素直に読んでみて下さい。

福島原子力発電所の事件以来、原子力や放射能の影響について、数多の本が出版されて、書店には専門のコーナーが設けられている。事件を自分で考えるには、この中から吟味したいいくつかを読まなければならないと思うが、手に取るのさえ躊躇する程の量がある。そのなかでタイトルと表紙が目にとまり手にとったのが本書である。出版の背景や呼びかけに対して応募した子供達の作品であることを考えると、当事者の一方の立場から出版された本と言える。しかし、それでも子供達にこんな手紙を書かねばならない状況にしまったことそれだけで、これまでの大人の無責任に対する自覚と反省、そして「子供達の問い」に答える義務を突きつけられたと感じた。できれば「大人」の書いた趣旨や寄稿を極力少なくし、子供達の手紙だけで構成すれば、鋭利さがさらに増したのではと思う。子供達の手紙です、素直に読んでみて下さい。

●辻本 尚弥(健康・スポーツ科学センター)

原発危機と「東大話法」：傍観者の論理・欺瞞の言語

安富 歩 著／明石書店 刊…………… ￥1,600 (税別)

福島原発の事件について書き綴った著者のブログをまとめた一冊。

福島原発の事件について書き綴った著者のブログをまとめたものが本書である。著者は本書を、漠然とした不安から「性急にまとめあげた」と書いているが、本書は著者の冷静な淡々とした書き口で全体を通して静かな怒りを感じることができる。本書は、「東大話法」という20の規則をもつ、官僚や大学人・研究者が使うきわめて自己中心的な暴力的言説について、その生態を記述し批判したものである。内部の人がその内側を書く場合、ともすれば批判がすべて自己に帰り、書くことを躊躇しかねない。しかし、著者は「吐き出さざるをえない感情と思考」を、どうしても書かざるを得なかったのではないかと私は感じる。著者は「東大話法」があらゆる言説の場に蔓延していると書いている。はじめは私も著者に共感し感心しつつ読んでいたが、3章を読み進めるうちに、書かれているのは「私」や「大学の私達」のことであることに思い至り、これまでの自分の言説を反省しながら苦しく読み終えた。難解な言葉も少なく、自分の言説について思考をすすめるひとつの意見として有益な書です。是非一度目を通して下さい。

●辻本 尚弥 (健康・スポーツ科学センター)

「科学的思考」のレッスン：学校で教えてくれないサイエンス

戸田山 和久 著／NHK出版 刊…………… ￥860 (税別)

我々が「デキル市民」となる一歩を踏み出すために、是非読むべき入門書です。

本書は基礎編と応用編の二部で構成されている。一部の基礎編では「科学的に考えるってどういうこと?」かについて書かれている。科学哲学というと、教科書は難解で取っ付きにくいイメージがある。しかし本書は著者が、一般人向けに行った講義をさらに読みやすくまとめたものである。そのため各レッスンの要点がわかりやすく書かれている。例えば、二分法思考はなぜダメなのか、「悪いあるいは良い理論」とは何か、「(科学的)説明」や「実験」の意味などを明確に記している。さらに二部の応用編では、科学リテラシーの必要性について、例を用いてわかりやすく説明し、「大衆」ではなく、科学をシビリアンコントロールできる「デキル市民」となることを勧めている。これからの日本は「市民」が主役にならないと衰退の一途をたどり、小さくても輝き続ける国にはなれないと思う。我々が「デキル市民」となる一歩を踏み出すために、是非読むべき入門書です。まずは手に取り例題を考えつつ気楽に読んで下さい。

●辻本 尚弥 (健康・スポーツ科学センター)

25

なかのとおるの生命科学者の伝記を読む

仲野 徹 著／学研メディカル秀潤社 刊…………… ¥1,900 (税別)

「人生ってなんなのだろう」と真摯に考えるきっかけを与えてくれる。

18人の著名な生命科学者の伝記を紹介した本である。著者は、思想家である内田樹氏の弟子を自任するユニークな生命科学者である。著者も書いているように、「伝記を読む事」は、他人の人生を覗き見る趣味を満足させ、さらに「人生ってなんなのだろう」と真摯に考えるきっかけを与えてくれる。本書はセント・ジョルジュやベンター、カレルの自伝・伝記を題材に、いくつかのエピソードを紹介し、彼らの意外な一面やまるでドラマのような研究生生活を紹介している。紹介されている書籍のいくつかがすでに絶版になっており、手に入れるのが難しいが、私は研究者の鑑のような「ルリア」や「エイブリー」の本は是非読んでみたいと思う。本書は生命科学の専門誌に掲載されたため、少し専門的な知識が必要になるが、「この科学者の伝記は読んでみようかな」という気にさせてくれる。一度手に取ってみて下さい。

●辻本 尚弥(健康・スポーツ科学センター)

26

Histology and Cell Biology: An Introduction to Pathology

A.L. Kierszenbaum, Laura L. Tres 著／Mosby Elsevier 刊… US\$ 75.95

まずは手にとって、写真や図を眺めてみて下さい。

この本は、人の体を構成している細胞の理解のために、様々な組織の形態や構造をあつかった専門書です。組織学はヒトの体をミクロに見る方法の基礎を提供する学問として発達し、そこから得られた分析手法は医療の現場や研究の場で多く用いられています。健康科学やスポーツ科学の基礎的な情報の多くも組織学より提供されています。組織学の本となると、多くは「わかる人」が見ないと何が示されているのかさえわからない写真が載っているイメージがあります。本書にはその手の写真もありますが、わかりやすく書かれた多くのイラストが、いろいろな細胞の組織学的な理解の手助けになります。学生のために書かれた・・・とはいっても、一般の人にとっては英語で書かれた難解な医学専門書です。一度手にとって、まずは写真や図を眺めてみて下さい。たまには「手に取るのを躊躇する本」に「挑戦」してみましょう。

●辻本 尚弥(健康・スポーツ科学センター)

「本学OPAC」で簡易検索

1 にキーワードを入れて検索

マイライブラリ

2 NACSIS目録にチェックすると他大学の所蔵を検索できます

・貸出中圖書の予約

3 にチェックして「予約」をクリック

天使のナイフ

| 予約 | 予約人数 | 期年 | 所在 | 請求記号 | 資料ID | 貸出区分 | 状況 | 備考 |
|--------------------------|------|----|-------------|---------------|----------|------|-----------------|----|
| <input type="checkbox"/> | 1 | 0 | 動井図書館/3階楽風室 | 913.6 Y169 | 10643145 | | 貸出中(2013/01/31) | |

4 ログインすると予約ができます

ログイン

5 ログインすると「マイライブラリ」であなたの貸出や予約などの情報が確認できます

6 終了時は必ずログアウトする

7 今までに借りた履歴が見られます

マイライブラリ

お知らせ

新着情報

たとえば、ある課題に際して、書物・雑誌・データベース・ネットワーク・インターネットなどを駆使して情報を収集。そのプロセスを経て、書物の愉しさ、奥深さを味わい、情報メディアを使いこなすスキルを身に付け、レポートや論文を仕上げたり、教養や知識を身につけたり、あるいは就職活動に役立てる場。それが図書館です。ここでは皆さんが御井図書館を楽しく使っていただくための第一歩となる「図書館ウェブサイト」の見方と活用法を紹介します。実際に図書館に足を運ぶ前に、しっかりとチェックしておきましょう。

左側はデータベース等が配置されています

「本学OPAC」で 久留米大学の所蔵を検索

貸出中の書籍も「マイライブラリ」から貸出延長手続きをすることもできます

新聞のデータベース

あらゆる検索サービスから新聞記事の検索ができます

百科事典・辞書などを検索 できる「Japan Knowledge⁺」

日本国内で発行中の40以上の辞書や辞典を擁するデータベースです

法律関係や企業情報などの データベース

データベース一覧で詳細 を閲覧



久留米大学 御井図書館

図書・雑誌を図書館で探す

マイライブラリ / 本学OPAC / NDL-OPAC / Webcat Plus / 久留米市立図書館

図書をオンライン書店で探す

bk1 / amazon.co.jp / Books.or.jp / 日本の古本屋 / スーパー源氏 / BOOK TOWNじまう

雑誌の論文・記事を探す

雑誌記事索引(雑誌後)(NDL-OPAC) / 雑誌記事索引集成(雑誌前) / MAGAZINE PLUS / Web OYA-bunko(大宅社一文庫) / CINIi

新聞の記事・写真を見る

聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞) / ヨミダス文書館(読売新聞) / パピルス(西日本新聞) / 日本経済新聞電子版(イブリック) / 佐賀新聞 / 中国新聞朝刊電子版 / 神戸大学新聞記事文庫 / 毎日フォトバンク / よみうり写真館 / 御井図書館で購読中の新聞一覧

その他の学術研究用ツール

国立国会図書館サーチ(NDL Search) / 日外e-レファレンス・ライブラリー / Japan Knowledge+ / Google Scholar / Facts on File Online Databases / LEX/DB / 第一法規法情報総合データベース / D1-Law.com / 法律文献総合INDEX / Westlaw International / JURIS Online / メディカルオンライン / 医中誌Web / PubMed / 流通情報 / SourceOECD / 総合企業情報データベースeol / OECD iLibrary / 国際問題 / J-STAGE / KAKEN: 科学研究費補助金データベース / インターネット版「官報」 / 電子ジャーナル・電子ブック検索 / 文献管理ツール: RefWorks

>>久留米大学学位論文一覧

>>データベース一覧

>>トライアル中のデータベースはこちら

お知らせ

- ▶ 2013/1/11 春季休暇期間中の長期貸出について
- ▶ 2013/1/4 「成人の日」の開館時間と1月の休館日について
- ▶ 2013/1/4 “Bank of England Quarterly Bulletin”について
- ▶ 2012/12/24 地域住民(一般利用)の利用制限のお知らせ
- ▶ 2012/12/19 RefWorksのログイン状態を維持する新機能
- ▶ 2012/11/21 eBook日本近代立法資料叢書について
- ▶ 2012/11/1 ヨミダス歴史館のトライアルについて

>>過去のお知らせ

春季休暇期間中の長期貸出について

(2013/1/11)

下記期間中に借りられた図書の返却期限は、一律 **4月11日(木)**となります

- 学部学生: 2013年1月18日(金)～ 3月27日(木)
- 大学院生: 2013年1月18日(金)～ 3月10日(日)

※ ただし3月卒業予定の方は2月28日(木)までに必ず返却してください。

御井図書館からのお知らせ

図書館からの最新のお知らせを速報します

開館カレンダー

2カ月分の開館日、開館時間が分かります。出掛ける前にチェックしましょう

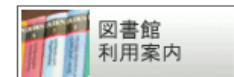
カレンダー

□ 8:45～21:00 □ 10:00～18:00
■ 9:00～17:00 □ 閉館日

| 2月 | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-----|
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| | | | | | 1 | 2 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | | | |

| 3月 | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-----|
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| | | | | | 1 | 2 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

>>年間予定 2012(PDF)
2013(PDF)



図書館を使いこなすのは大学生の当たりまえ
ウェブサイトを活用して図書館の達人になろう

御井図書館の利用について

1. 図書館の利用に際して

パソコンを利用する際は、蔵書検索(OPAC)専用のパソコン以外は情報教育センターのアカウントが必要です。

2. 開館時間について

- ① 平常 月～金曜日 8:45～21:00
- ② 長期休暇期間 月～金曜日 9:00～17:00
- ③ 土・日曜日 10:00～18:00

3. 休館日について

祝祭日(成人の日、海の日以外)、創立記念日(4/28)、盆休み(8/15)、年末年始(12/29～1/3)、学年暦により開館日が変更となることがあります。臨時休館する場合は館内に掲示いたします。

なお、詳細は御井図書館ホームページを参照して下さい。

4. 貸出冊数と期間について

- ① 学部学生 10冊 2週間
- ② 大学院生 20冊 1ヶ月

5. 延滞図書について

図書の返却期限を過ぎると貸出停止のペナルティーが科せられます。

御井図書館ホームページ

<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib>